

## 7. 和紡（ガラ紡）従業員の血液値について

愛知学芸大 奥山 静

1. 西三河地方の特殊産業たる和紡業は、中小企業というよりは零細企業にぞくするものが大半を占め、そこで働く従業員の衛生状態は良好とはいえない。先にこれ等従業員の労働時間並びに生活時間調査を行ない、労働衛生学的に検討したが、更に今回は従業員の欠勤状態を1カ年に亘り調査し、女子は男子に比し欠勤率は高く、小企業特に零細企業になるにつれ欠勤率は高く、特に病欠欠勤に比し事故欠勤が多く、この傾向は女子に著しくまた既婚者は未婚者に比し高率で高令者程欠勤率が高いことが明らかにされた。以上の如く和紡従業員の欠勤率は一般業態に比し高率でしかも企業の小なるもの程その傾向が著しいことからみて、彼等従業員の健康状態を把握するため血液値の諸項目について測定してみることにした。

2. 血液値の項目は赤血球数、血色素量、血球素係数白血球数で、16工場96名を対象者とした。

3. 赤血球数は男子486.9万/mm<sup>3</sup>、女子444.0万/mm<sup>3</sup>、血色素量は男子15.52g/dl、女子14.28/dl、血球素係数男子1.00、女子1.01、白血球数男子7190/mm<sup>3</sup>、女子6650/mm<sup>3</sup>で一般正常人に比しやや貧血傾向を示すものが見られる。工場規模別にこれを見ると、企業が小さくなるにつれ赤血球数の減少が著しく、次に年令別に見ると高令になるにつれ赤血球数、血色素量が減少し、白血球数は却って増加している。以上和紡従業員の血液値は一般正常人に比しやや貧血に傾き、その傾向は企業の小さいもの程著しいことがいえる。